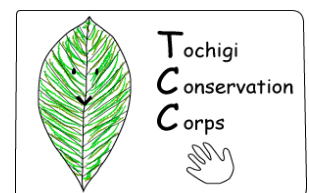


若者を育む、 地域が変わる!



特定非営利活動法人

トチギ環境未来基地



MISSION – わたしたちが目指すもの –

近年、荒れている里山。

先代から受け継がれてきた雑木林、竹林と人との暮らしが失われ、

「里山は資源の宝庫」から、「地域の環境が荒れる象徴」と変わっています。

担い手

このままの生活、自然との関わり方を続けていいのでしょうか？

きっかけ

一方で、
20～30歳代の若者を取り巻く状況も変化しています。

お金を得るためだけの仕事と人生に疑問を抱く若者。
就職をしたくてもなかなか働くことが難しい若者。
自然や地域貢献の活動に興味はあるけれど、
何から始めてみたらいいのかわからない若者。

そんな若者に今何が必要なのでしょう？
これから社会を支えていく若者に何が求められているのでしょうか？



今のみなさんの身のまわりの自然を、
次代の子どもたちに残せますか？

HISTORY - いままでの歩み -

地域の困りごとにもなりかねない、荒れた里山、雑木林、竹林を若者の力で探り、再生していきます。本来あるべき姿に整備をするだけでなく、持続的にその場所が守り続けていけるような仕組みを作ることを目指しています。

また、同時にいろいろな課題を若者自身が考え解決していくことで、一つ一つのことに向き合い、若者のもっている力も引き出し、育組むことも目標の一つです。

この二つの両輪が潤滑湯のように活動が進めていけるよう、私たちは日々活動しています。

1999

代表、塚本竜也がアメリカのシアトルにあるEarthCorpsという団体のConservation Corpsプログラムに参加し、日本でもこのような活動をつくりたいという思いをもつ。



2009

のべ194人 45日

日本で初めてのConservation Corpsの実施団体として、栃木県芳賀郡益子町に事務局をおき、活動を始める。

2010

のべ694人 103日

はじめて5～7月、9～11月の年2回。Conservation Corpsプログラムを実施する。活動フィールドも、幼稚園の子供が遊べる森づくりを宇都宮市、高根沢町で、那須烏山市では竹林整備にも取り組む。



2011

のべ1,602人 306日
(栃木県内、いわき市含む)

2010年度と同様に年2回Conservation Corpsプログラムを実施する。また、東日本大震災をきっかけに、福島県いわき市での復興活動にも取り組む。過去のConservation Corpsプログラム参加者も非常勤スタッフとして関わったり、他NPOへ就職したりと、参加後の進路にあわせたサポートも行う。



2012

のべ2,641人 284日
(栃木県内、いわき市含む)

Conservation Corpsプログラムの実施や、ステップアップ生の受け入れも本格化し、活動の充実も図る。

福島県いわき市

震災後、福島県いわき市の復興ボランティアバスを企画し多くのボランティアと活動しました。事務局を中心に、仮設住宅でのプランター教室、海岸林の清掃を経て、「苗木forいわきプロジェクトが始まりました。

コンサベーション・コア

Conservation Corpsとは？

米国で行われている、若者がチームで、長期間、地域貢献活動に取り組むプログラムで、年間約25,000 人もの若者が参加しています。若者がより良い地域をつくるための力として活躍し、参加する若者もその活動を通じて大きく成長し、その成果が目撃されています。

Japan Conservation Corps（日本国内のConservation Corpsネットワーク組織）の設立に向けて準備中！

事業報告 - 1年の活動を振り返って -

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動フィールド	創造の森 整備(毎月2～5日程度) <宇都宮市> 森で遊ぼう! イベント: 6月5(年長)、8(年中)、13(年少)日 パパ会のみなさんと森をつくろう! : 8月18, 19, 25日 11月5, 9, 12(年齢合同) E					
	子どもの森 整備<高根沢町> 森で遊ぼう! イベント: 5月13日お披露目会					
	平石地区10,000散策コースづくり(山下川・あさひが丘 地域の方と一緒にイベント: 8月12日宇都宮花火大会観賞会、 9月6日(鬼怒中学					
	竹林整備・活用<茂木町、那須烏山市>					
各事業	Tochigi Conservation Corps リーダー講座					
	しごとや、基金訓練受け入れ 自立援助センター受け入れ 県南若者サポートステーション 短期合宿 受け入れ					
	益子町の竜巻 災害ボランティアへの参加 育て上げネット キャンプ受け入れ 親子キャンプ 8月21-24日、9月15-16日、					
	<栃木県内での活動> 「苗木forいわき」 プロジェクト 6月20日キックオフイベント、7～10月 苗木のお届け(栃木県内30団体)					

《栃木県内の活動》

のべ参加者数 1,750人/日

のべ作業日数 187日間

《初開催!》

親子キャンプ in 芳賀の森

震災後、栃木県内に避難されているご家族の皆様を対象に、親子キャンプを企画、運営しました。
のべ30人が参加してくださいました。
*この事業は、日韓共同募金会 東日本大震災救援プロジェクト、栃木県内被災者支援活動助成事業の助成を受け、実施しました。



2012年度の3大ニュース!

NEWS

①活動に多様な人たちが参加!

一創造の森の整備に幼稚園の保護者の皆様にご協力いただいたり、平石地区のあさひが丘では地域の自治会や中学生のみなさんと活動したり、初めて実施した親子キャンプ in 芳賀の森では、普段整備の活動などでお世話になっている方々と一緒に実施したり、と多くのつながりが増えました。

②「苗木 for いわき」プロジェクトがはじまり、多くの小学校、福祉施設、企業の応援集まる!

一クロマツを育ててくれるクロマツパートナー、資金のご協力いただいているクロマツサポーター、多くの方たちの思いをいわき市へ届けています。同時に団体のコーディネート力も高まっています。(詳細はP.7へ!)

③多くのメディアに広報協力いただきました!

一各メディアに活動の様子を取り上げていただきました。(詳細はP.8へ!)



10月	11月	12月	1月	2月	3月
-----	-----	-----	----	----	----

1月21(年中)、23(年少)、25(年長)日

整備(毎月5日程度)<宇都宮市>
生と活動)、7日(陽西中学生と活動)

1月13日(どんど焼きで伐木を活用)

烏山市 : 11月18日 境橋歩いちゃおう!にて、竹林整備。活用ワークショップ

ステップアップ研修生受け入れ

リーダー講座

今年も各活動フィールドの担い手の中心になったのが、Conservation Corps プログラムメンバー、ステップアップ生のメンバーです。

栃木県若年者支援機構、とちぎ青少年自立援助センター、県南若者サポートステーションなどの多くの若者自立支援団体のみなさんとも活動を行いました。

in 芳賀の森

10月27-28日、11月24-25日

クロマツパートナー訪問、プロジェクトワークショップの開催



参加者にききました。

深刻な環境問題を、実際に体験しながら学びたいと参加を決めました。慣れない作業は大変なときもありましたが、町を歩いていても「あの竹林は荒れているな。」「あの木の名前は？」など、今まで気にしていなかったことにも目を向けるようになりました。

改めてチームワークの大切さ、難しさも体感し多くを学びました。
△川上ひろ子さん(大阪府、20歳)



▼李宜儒さん(台湾、26歳)

何か新しいことをはじめたい!と思い、日本でのボランティアに参加することに決めました。



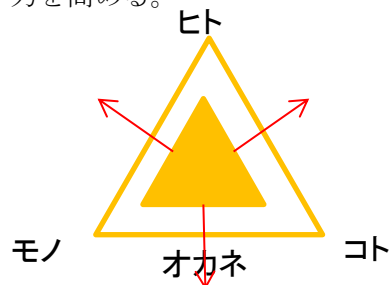
最初は不安もあったけれど、メンバーと一緒に森仕事をして、汗を流して、泣いて、笑った。TCCのおかげで、色々な人たちに出会って、人生のどの時期を思い出してもいい思い出になった。

これから取り組みたいこと!

団体を設立してから3年半がたちました。思いを形にできたところもあれば、これから力を入れる必要のあるところもあります。

☆ボランティアのニーズに合わせた活動ができるよう模索し、門戸を広げる。

☆「継続した活動」ができるように、ヒト、モノ、コト、オカネのトライアングルのバランスを整えられるよう、事務局のコーディネート力を高める。



活動フィールドはこんなところ！

私たちの活動フィールドは多岐にわたります。持続した活動に取り組めるように、以下のことを大切にしています。

- 公共性の高い活動に取り組む
- 地権者や管理者の思いを尊重し、整備するだけでなくその場所を活用できるように取り組む
- 活動場所の範囲（事務局野益子町から車で1時間程度）

創造の森<宇都宮市下栗>



10,000歩コースづくり 山下川・あさひが丘整備 <宇都宮市平出>



子どもの森



竹林整備<茂木町> <那須烏山市>



詳細は活動フィールドハンドブックを
ご覧ください！

フクシマ - いわき市での活動 -

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

津波の被害を受けた海岸林を再利用するプランターキットづくり

仮設住宅でのプランターづくりを通じた交流の会(月1回)

自然体験フィールド整備

遊歩道の整備と森林セラピー広場が完了しました！

海岸清掃(月1回)

夏井川河口周辺を終えることができました！

ユースワークキャンプ(月1回)

ワークキャンプ



海岸清掃



プランターづくり交流会



ボランティアの皆さんと

いわき市での活動も開始から2年がたち、たくさんの人たちとのつながりができました。プランターづくりの会など多くのボランティアの方々の力を得て、実施し大変好評をいただきました。

のべ参加者数 891人/日

のべ作業日数 97日間

「苗木forいわき」プロジェクト

苗木を育てていただく、クロマツパートナー

現在50団体(栃木県内 30団体、いわき市内20団体)

寄付

★ 目標額

3,000,000円

(苗木の購入+3年間の下草刈り等の管理)

★ 現在の寄付額 891,516円

(2013年3月31日現在)

★募金箱の設置協力店 店舗

株式会社たいらや様、株式会社エコ配様
など、企業との協力も生まれました。

- 6月 キックオフin栃木
- 7月 苗木のお届けスタート 海岸整備活動
- 9月 キックオフinいわき
- 11月 佐野社協シニアボランティア講座
- 12月 上松山小学校行事
- 1月 たいらや募金箱スタート
- 2月 植林予定地整備活動
- 3月 植林イベント 190本



メディア掲載 ・ 寄付のご報告

今年度の活動も多くメディアの方々に協力いただきました。

新聞

- ・下野新聞（平成24年6月19日） 《いわきの海岸林再生を》
- ・朝日新聞（平成24年6月20日） 《いわきの海岸林を再生しよう》
- ・下野新聞（平成24年6月21日） 《海岸林再生計画が始動》
- ・下野新聞（平成24年11月7日） 《クロマツ苗木をいわき市植樹へ》
- ・栃木よみうり（平成24年8月3日） 《子どもの森で遊んで学んで》
- ・下野新聞（平成24年9月12日） 《自然と向き合い親子で創作活動》
- ・下野新聞（平成24年11月16日） 《人、まちづくりに地域資源を活用》
- ・下野新聞（平成24年12月12日） 《住民手作りの公園完成》

ラジオ・TV

- ・ニッポン放送 ごごばん！（平成24年6月22日）
⇒いわき市での活動、苗木forいわきの取り組みを紹介いただきました
- ・NHK（平成24年10月3日） 《首都圏ニュース》
⇒苗木forいわき 上松山小学校での植樹活動を紹介いただきました
- ・NHK（平成24年10月5日） 《首都圏ネットワーク》
⇒プロジェクト2030で一緒に活動している若者の取り組みを紹介いただきました。
- ・とちぎテレビ（平成24年3月31日） 《ニュース》「震災から2年 共同・共創」

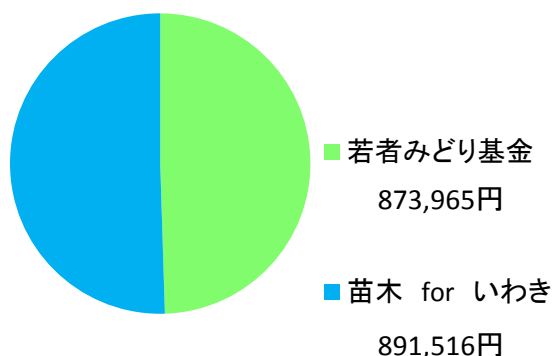
雑誌

- ・農林中央金庫 グリーン&らいふ（2012 春号・第121号） 《森を育て人を育てる3C活動》
- ・CONSERVATION VOLUNTEERS（平成24年～ 4回） 《連載 環境保全ボランティア活動と若者の自立支援》
- ・たかねざわ（町広報誌）（平成24年7月）
- ・まちぴあ 秋号（平成24年10月）
- ・さの社協だより Vol. 32（平成25年1月15日）
- ・月刊とちぎVネットボランティア情報 Vol. 198（平成25年1-2月） 《トチギのげんきな被災地支援②》



＜ 寄 付 の ご 報 告 ＞

寄付全体 1,765,481円



たくさんの皆様にご協力いただいております。
ありがとうございました！

～ご協力いただいている皆様～

募金箱設置いただいている店舗(2013年3月現在)

エコ・ハウスたかねざわ	(高根沢町)
2 tree café	(宇都宮市)
ヘイコーパック	(芳賀町)
益子の茶屋 1号店	(益子町)
益子の茶屋 2号店	(益子町)
益子の茶屋 3号店	(益子町)
コミ助(カフェ)	(宇都宮市)
ん・たろうの店 2店舗	(宇都宮市)
たいらや 栃木県内24店舗	(県内各地)
やきとり竜鳳4店舗	(県内各地)

寄付付き商品の販売(2013年4月1日～)

エコな配達業を営まれている、株式会社エコ配さまは、寄付月商品を開発してくださいました。
その名も「復興kuromatsu」です。



組織 ・ 代表メッセージ



《 団体の概要 》

名称 特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地
住所 〒321-4104
栃木県芳賀郡益子町大沢3584-1 (明在庵内)
TEL/FAX 0285-81-5373
MAIL tochigi@conservation-corps.jp
URL <http://conservation-corps.jp/tochigi/>



トチギ環境未来基地の拠点
「明在庵」

〔 理事 〕

理事長 塚本 竜也
理事 石川 隆博 (ボランティアコーディネーター)
理事 小此木弘明 (財団法人日本自然保護協会)
理事 尾崎 嘉洋 (NPO法人芋麻倶楽部 事務局長)
理事 鹿住 貴之 (NPO法人JUON NETWORK 事務局長)
理事 村上 徹也 (市民活動コンサルタント)
理事 矢野 正広 (NPO法人とちぎボランティアネットワーク 事務局長)
理事 佐藤 隆司 (空とぶモニョンゴロ村)
監事 小鷹 紫

〔 職員 〕

常勤 1名 非常勤 3名
会員 一般会員 団体会員 協力会員

平成24年度も多くの方々のご協力、ご支援をいただき活動することができました。本当にありがとうございました。

Conservation Corpsプログラムを活動の柱に、若者たちと様々な現場で活動する中で、やはり若者たちが前向きに行動することでたくさんの良い変化を生み出していくことができるということを実感しています。

宇都宮市あさひが丘の整備では、地域の方々、地元の中学生、市内外からのボランティアなど多様な人たちと活動を行いました。その活動を若者が時に受け皿として、時にコーディネーターとして担うことで、輪が広がり円滑に楽しく活動を行うことができます。良い活動を行うペースが自然とできていきます。

また、いわき市での仮設住宅での活動では、若者が来てくれるだけで元気になるといった声をたくさんいただきました。技術的には不十分であっても、ボランティア活動の現場では「わからないことは素直に教えていただける」という若者の特権が、大きな力を発揮するのだと思います。

NPO法人トチギ環境未来基地は栃木県内で活動を展開していくと同時に、全国にConservation Corpsを広げていくという役割を持って活動しております。若者たちがチームで長期間活動できる仕組みが全国各地にできれば日本の抱えている課題を大きく改善していくことができると思います。

平成25年4月1日より、福島県いわき市での活動が、正式にフクシマ環境未来基地として切り離しとなります。震災をきっかけに生まれた団体ですが、今後はより地域に根差したNPOとして、森づくりや地域づくりなどを地域の方々と協力しながら、若者たちとともに行っていきます。

若者の思いと可能性を信じて、これからも活動の輪を広げていきたいとおもいます。引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

塚本 竜也

つかもと・たつや／1976年生まれ。広島県出身。日本大学生物資源科学学部森林資源科学科卒業。アメリカのシアトルでConservation Corpsに参加。
その後NPO法人NICEの事務局長を務め、2005年から栃木県で若者自立支援の事業にも平行して携わる。2009年トチギ環境未来基地を設立、代表を勤める。





特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地
平成24年度 事業報告書

平成25年5月10日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也

連絡先
特定非営利活動法人トチギ環境未来基地
〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢2584-1

TEL/FAX 0285-81-5373
E-mail tochigi@conservation-corps.jp
URL <http://conservation-corps.jp/tochigi/>

